

令和5年度 坂町議会『議員』の評価

評価期間

令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

評価実施者

岡村繁範 年齢 52才 議員経験年数 1年

評価日

令和6年4月4日

評価の分類

◎:「よくできた」 ○:「できた」 △:「努力が必要」 ×:「殆どできなかった」

主要評価項目	評価	評価理由	課題
<p>1. 議員活動の原則</p> <p>1) 議会において、特に、言論を尊重し、自らの発言に責任を持ち、意見を述べたか。</p>	○	常に発言に責任を持ち、積極的に発言した。	生産性の高い議論を行うための自己研鑽が必要。
<p>2) 町民全体の代表者としての責務を深く自覚し、自己の能力を高める活動を積極的にしたか。</p>	○	地域の課題を把握するための行動を積極的に行った。	地域の課題を克服するための知見を深めることが必要。
<p>3) 個別的な事案の解決だけでなく、町民全体の生活の向上を目指して活動したか。</p>	○	住民目線で課題をとらえ、早期解決に向け考え活動した。	各種団体等との意見交換を充実する。
<p>2. 自由討議の拡大</p> <p>町政の課題や議会改革の推進について、議員相互間の自由討議（質問、討論）により議論を尽くして合意形成に努めたか。</p>	○	積極的に課題提議を行い、合意形成に努めた。	討議のための調査や研究をより深めることが必要。
<p>3. 議会費および政務活動費</p> <p>政務活動費の使途は適正かつ活動に有効に使われたか。また、議長に対して、証書類を添付した報告書を提出したか。</p>	○	1年目として常に自己研鑽に努め、滞りなく必要な書類を提出した。	より町づくりに貢献するための費用支出に努める。
<p>4. 選挙公約の評価</p>	△	公約に掲げた、住民の声を聞くためのワークショップ等の開催は現在の経験値では困難であったが、早期に実現していく。	自らがより積極的に各種会合に参加し意見交換の場を作る。